

高2数学 基本問題演習 37. 平面ベクトル(3)

① [I. 2003 小樽商科大 II. 2012 岡山大]

I. $O(0, 0)$, $A(1, 3)$, $B(2, 1)$, $\overrightarrow{OA'} = 3\overrightarrow{OA}$, $\overrightarrow{OB'} = 2\overrightarrow{OB}$ とする. このとき直線 AB' と直線 $A'B$ の交点の座標を求めよ.

II. 四角形 $ABCD$ は平行四辺形ではないとし, 辺 AB , BC , CD , DA の中点をそれぞれ P , Q , R , S とする.

- (1) 線分 PR の中点 K と線分 QS の中点 L は一致することを示せ.
- (2) 線分 AC の中点 M と線分 BD の中点 N を結ぶ直線は点 K を通ることを示せ.

② [2007 湘南工科大 2003 千葉工業大 2006 神戸大]

I. 2つのベクトル $\vec{a} = (0, 2)$, $\vec{d} = (1, 2)$ がある. 定点 $A(\vec{a})$ を通り, \vec{d} に平行な直線の方程式を求めよ.

II. 座標平面上に3点 $O(0, 0)$, $A(0, 5)$, $B(6, 2)$ をとり, 点 P を

$\overrightarrow{OP} = (1-t)\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ (t は実数) によって定める.

$|\overrightarrow{OP}|$ は $t = \sqrt{\quad}$ のときに最小となり, 最小値は $\sqrt{\quad}$ である.

また, t が $0 \leq t \leq 1$ の範囲を動くとき, P が描く図形の長さは $\sqrt{\quad}$ である.

III. 平面上に原点 O から出る, 相異なる2本の半直線 OX , OY をとり, $\angle XOY < 180^\circ$ とする. 半直線 OX 上に O と異なる点 A を, 半直線 OY 上に O と異なる点 B をとり, $\vec{a} = \overrightarrow{OA}$, $\vec{b} = \overrightarrow{OB}$ とおく.

(1) 点 C が $\angle XOY$ の二等分線上にあるとき, ベクトル $\vec{c} = \overrightarrow{OC}$ はある実数 t を用いて,

$$\vec{c} = t \left(\frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|} \right) \text{ と表されることを示せ.}$$

(2) $\angle XOY$ の二等分線と $\angle XAB$ の二等分線の交点を P とおく. $OA=2$, $OB=3$, $AB=4$ のとき, $\vec{p} = \overrightarrow{OP}$ を, \vec{a} と \vec{b} を用いて表せ.

③ [2014 岩手大]

点 $P(5, -1)$ を通り, $\vec{n} = (1, 2)$ が法線ベクトルである直線の方程式を求めよ. また, この直線と直線 $x - 3y - 2 = 0$ とのなす角 α を求めよ. ただし, $0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$ とする.

高2数学 基本問題演習 37. 平面ベクトル(3)

4 [2007 東北学院大 2008 明治学院大]

I. 平面上に定点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$ があり, $|\vec{a}-\vec{b}|=5$, $|\vec{a}|=3$, $|\vec{b}|=6$ を満たしているとき, 次の問いに答えよ。

- (1) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を求めよ。
- (2) 点 $P(\vec{p})$ に関するベクトル方程式 $|\vec{p}-\vec{a}+\vec{b}|=|2\vec{a}+\vec{b}|$ で表される円の中心の位置ベクトルと半径を求めよ。
- (3) 点 $P(\vec{p})$ に関するベクトル方程式 $(\vec{p}-\vec{a}) \cdot (2\vec{p}-\vec{b})=0$ で表される円の中心の位置ベクトルと半径を求めよ。

II. 点 A , B および P の位置ベクトルを, それぞれ \vec{a} , \vec{b} および \vec{p} で表す。 P が $|\vec{AP}|=2|\vec{BP}|$ を満たしながら動くとき, \vec{p} の方程式は, c_1, c_2, c_3 および c_4 を定数として, $|\vec{p}-c_1\vec{a}-c_2\vec{b}|^2=|c_3\vec{a}+c_4\vec{b}|^2$ と表される。このとき, c_1, c_2, c_3, c_4 の値を求めよ。

5 [2000 東京工科大]

O を原点とする座標平面上に, 2点 $A(2, 0)$, $B(-1, \sqrt{3})$ と実数 s, t に対して $\vec{OP}=s\vec{OA}+t\vec{OB}$ で定められる点 P がある。

- (1) $s=1, t=\sqrt{2}$ のとき, 点 P の座標は ア である。また, このとき, $\tan \angle AOP = \text{イ}$ である。
- (2) $s=1, t>0$ のとき, 点 P は直線 ウ の $y>0$ の部分に存在する。
- (3) 点 P の存在範囲が
 - [1] 線分 AB であるのは エ かつ オ のときである。
 - [2] 三角形 OAB の周または内部であるのは カ かつ キ のときである。
 - [3] 直線 $y=\sqrt{3}x$ であるのは ク のときである。

エ , オ , カ , キ , ク の解答群

- | | | | |
|------------------------|------------------------|----------------|-------------------|
| ① $s+t=0$ | ② $s-t=0$ | ③ $s+t=1$ | ④ $s+\sqrt{3}t=0$ |
| ⑤ $\sqrt{3}s+t=0$ | ⑥ $s+t \geq 1$ | ⑦ $s-t \geq 1$ | ⑧ $s+t \leq 1$ |
| ⑨ $s \geq 0, t \geq 0$ | ⑩ $s \leq 0, t \leq 0$ | | |

高2数学 基本問題演習 37. 平面ベクトル(3)

6 [I . 2003 大阪歯科大 II . 2012 上智大]

I . O を原点とし, $\overrightarrow{OA}=(2, 1)$, $\overrightarrow{OB}=(1, 2)$ とする. $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$ とする. 実数 s, t が次の条件を満たすとき, 点 $P(x, y)$ の存在範囲を図示せよ.

- (1) $0 \leq s \leq 2, t=0$
- (2) $0 \leq s \leq 2, 1 \leq t \leq 2$
- (3) $s \geq 0, t \geq 0, s+2t \leq 2$

II . $\triangle OAB$ に対し, $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$, $s \geq 0, t \geq 0$ とする.

また, $\triangle OAB$ の面積を S とする.

- (1) $1 \leq s+t \leq 3$ のとき, 点 P の存在しうる領域の面積は S の何倍か答えよ.
- (2) $1 \leq s+2t \leq 3$ のとき, 点 P の存在しうる領域の面積は S の何倍か答えよ.

7 [岐阜大]

平面上に三角形 ABC がある. 実数 k に対して, 点 P が, $\overrightarrow{PA}+2\overrightarrow{PB}+3\overrightarrow{PC}=k\overrightarrow{AB}$ を満たすものとする.

- (1) $k=0$ のとき, 点 P の位置を求めよ.
- (2) k が実数全体を動くとき, 点 P の軌跡を求めよ.
- (3) 点 P が三角形 ABC の内部にあるような k の範囲を求めよ.